

## 入学式のあいさつ

みなさん、「ものづくり大学」へのご入学おめでとうございます。この「ものづくり大学」の内容については事前に勉強されたことと思いますが、入学式に当たり、この大学の設立の趣旨と特徴を簡単にご説明したいと思います。

ご承知のようにわが国は狭い島国に1億2千万人の国民が住んでいます。豊かな緑に恵まれてはいますが、天然資源が乏しい国柄です。そのため原料である鉱物と石油や天然ガスなどのエネルギーを輸入し、原料を工業製品に加工して自国で利用するとともに輸出しています。輸出によって得た外貨で次の生産に必要な原料とエネルギーを輸入すると共に我々の生活に必要な食料、衣料品、木材などを輸入しています。最近はこのような工業製品のみならずゲーム機械、ゲームソフト、漫画なども外貨の獲得に一役買っていますし、海外投資による外貨収入もおおきな割合を占めています。しかし、わが国の経済は基本的に工業製品の輸出に大きく依存する構造となっています。わが国が技術立国を標榜するのは将にこの自覚によるからです。

したがってわが国が21世紀も現在の世界トップクラスの先進国、経済大国として存続するためには、他国に負けない優れた工業製品を生産することが是非とも必要です。中国、インドなどアジア諸国が日本の技術に追いつこうと必死の努力をしています。グローバル経済の厳しい競争の中で日本が生き延びるには、諸君のご両親の世代がこれまで築いてきた世界に冠たる優れた「ものづくり」の技能と技術を継続し、さらに発展させねばなりません。

一方、国内における我々の日常生活を考えますと、何といたっても快適な生活環境と居住空間の確保が生活の基盤であります。地震国であり険しい山岳と複雑な海岸線に囲まれた国土に道路、鉄道などの社会インフラ基盤を整え、また住宅、工場などの生活、労働空間を構築することはきわめて重要であります。また神社、仏閣などの伝統的な建造物を建設あるいは維持する技術を継承することも大切です。これら生活基盤の構築あるいは伝統技術の伝承にはともに深い「ものづくり」の技能が要求されます。

さて一般の工学系大学では科学技術的な知識の習得に重点を置いた教育がなされるので、卒業生は実際の技術に疎い傾向があります。一方、工業系専門学校では技術的知識と技能の習得に重点が置かれますので、卒業生は科学的素養に欠けるきらいがあります。現場で効率よく知的に「ものづくり」の仕事をこなすには、欲張りですが、科学的な知識と実地的な技能の両方が必要とされます。

本学はこのような素養を持った「ものづくり」に長けた技術者を養成することを目的に設立されました。産業の現場において中核となり、リーダーとなるべき技術者を育てるのが本学の目標です。この趣旨に沿ってカリキュラムは組まれ、実習場は設計されており、他の大学にない自慢できる教育環境が用意されています。熱心な先生がたも諸君を待ち構えています。スポーツや技術のクラブもあります。授業だけでなく課外活動も大いに活用し、友人と青春を語りあい、楽しい4年間を過ごしていただきたいと思います。

以上をもってお祝いと期待の言葉と致します。